

高速交通による大交流時代と 福井・中部の課題

—北陸新幹線と中部縦貫道の影響をさぐる—

本フォーラムは、中部圏社会経済研究所との共催で開催いたします。第三次国土形成計画では、「日本海側・太平洋側二面活用等の広域圏内・広域圏間の連結強化」が打ち出されています。宮本代表理事からは新時代における中部と福井の関係、大谷准教授からは新幹線による都市間関係の変化について、ご講演いただきます。私ども地域経済研究所では、「北陸新幹線プロジェクト」の2年目として、開業後の人流データを整理するとともに、県内商工会議所の皆様のご協力を得て、企業活動の変化についてアンケート調査を実施しました。本日は、それらの分析結果について、報告いたします。

後半のパネルディスカッションでは、高速交通体系整備下での産業立地や観光、駅前開発など、福井と中部の課題について考えたいと思います。

参加費
無料

事前登録が必要です

スケジュール

13:30-13:35

開会あいさつ

13:35-14:15

中部地域が考える〈大交流時代〉とその課題



宮本 文武 (中部圏社会経済研究所 代表理事/中部経済連合会 常務理事事務局長)
1965年生まれ。1989年中部電力株式会社入社。総務部総務グループ長、東京支社副支社長を経て、2022年中部経済連合会常務理事局長、同年6月常務理事事務局長に就任。2023年からは中部圏社会経済研究所代表理事も兼務し、政策提言・研究の両面から中部・北陸地域の振興・発展に向けて広く活躍中。

14:15-14:45

北陸新幹線敦賀開業のインパクト
—開業効果から新幹線効果に向けて—



大谷 友男 (富山国際大学 現代社会学部観光専攻 准教授)
1973年群馬県生まれ。広島大学大学院修了後、九州経済調査協会に入職。九州新幹線開業の影響をはじめ、地域経済・社会に関して幅広く調査研究を行う。2021年より現職。専門は経済地理学・都市地理学。北陸新幹線の影響調査も行う。

14:45-15:15

北陸新幹線開業による
福井の企業活動の変化と課題



松原 宏 (福井県立大学地域経済研究所長・教授・東京大学名誉教授)
1956年、神奈川県生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了(理学博士)。西南学院大学経済学部、東京大学大学院総合文化研究科教授を経て、2022年より現職。専門は経済地理学で、産業立地・地域経済・都市システムの過去・現在・未来を研究。

原田 大暉 (福井県立大学産学官連携コーディネーター)

15:30-17:00

パネルディスカッション

コーディネーター **松原 宏**

パネラー



山田 賢一
越前市長



寺澤 大介
中央日本総合観光機構
常務理事事務局長



牧野 正広
北陸経済連合会
常務理事・事務局長



宮本 文武
中部圏社会経済研究所
代表理事/中部経済連合会
常務理事事務局長



大谷 友男
富山国際大学
現代社会学部観光専攻
准教授

日時

2024.12.19 木

13:30-17:00 (受付開始 13:00)

会場

ハピリンホール
(福井駅西口ハピリン3階)

定員

200名 ※申し込み多数の場合は先着順とします。

お申込方法

事前登録が必要です。下記URLもしくは右のQRコードへアクセスし、フォームを送信してください。

<https://forms.gle/zzmSjWXRpWvvpf3h9>



お申込み・お問い合わせ先

福井県立大学 地域経済研究所事務局 (担当:中島)

TEL 0776-61-6000 (内線 6104) FAX 0776-61-6017

E-mail keiken@fpu.ac.jp

後援

福井商工会議所・福井経済同友会・福井新聞社
NHK福井放送局・FBC・福井テレビ
北陸経済連合会・中部経済連合会・中央日本総合観光機構

